

Hottest PR!

大阪大学で日々生み出される研究成果。
このうち、2022年1月から6月末までの反響（WEB閲覧数や新聞報道等）が
大きかったプレスリリース記事をご紹介します。

Research at Osaka University
ResOU

リソウ

時代の先を行く知見がいっぱい。
大阪大学からプレスリリースした研究成果は「ResOU（リソウ）」でご覧いただけます。

<https://resou.osaka-u.ac.jp/ja/research>

Research at Osaka University ResOU リソウ ページビュー TOP5

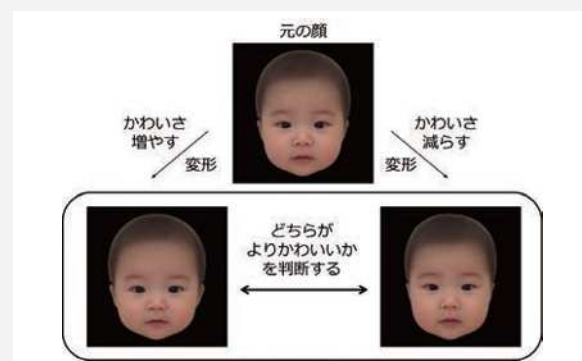
- 日本人赤ちゃんの顔で明らかになった 客観的な「かわいさ」次元の存在**
物理的特徴の操作で最もかわいい赤ちゃんの顔画像を作成
📊 13,939 PV
- 新しいタイプのパーキンソン病を発見**
既知の物質と異なるタンパク質の蓄積でも似た症状に
📊 2,993 PV
- 正しい診断まで平均20年「実は希少疾患だった」**
未診断期の患者の経験を辿り明らかに
📊 1,617 PV
- 将来はアニサキスでがん治療？**
アニサキスなどの線虫に機能性スーツを着せる方法を開発
📊 1,497 PV
- 慢性腎臓病患者の透析・腎移植の回避に アルドステロン拮抗薬が関連**
歴史ある利尿薬に脚光
📊 1,432 PV

Pick Up

2022/2/16

日本人赤ちゃんの顔で 明らかになった 客観的な「かわいさ」次元の存在 物理的特徴の操作で最もかわいい 赤ちゃんの顔画像を作成

大阪大学大学院人間科学研究科の入戸野宏教授らは、日本人の乳児顔の形状を分析し、かわいさが高いと評価される顔の特徴を明らかにしました。日本人の赤ちゃん顔をベースにした体系的な研究は今回が初めてで、今後の客観的な「かわいさ」に関する研究がより進むことが期待されます。



Research at Osaka University
ResOU

リソウ

http://osku.jp/NL87_HOTPR1

「かわいさ」にも客観的な次元が存在するという研究成果が、「かわいい」赤ちゃんの画像と共に多くの人の心をつかみました。

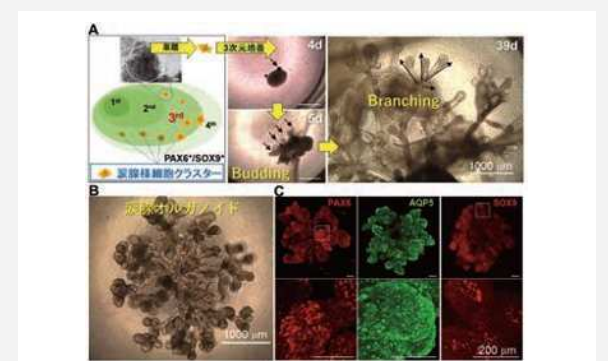
報道メディア：朝日新聞 ほか 10件（ResOUページビュー数：13,939件）

Pick Up

2022/4/21

iPS細胞から涙腺オルガノイドの 作製法を確立 重症ドライアイなどへの再生医療・ 創薬研究を加速させる新技術

大阪大学大学院医学系研究科の林竜平寄附講座教授、西田幸二教授らはヒトiPS細胞から機能的な3次元涙腺オルガノイドを作製する方法を新たに確立しました。これまで再生が不可能であった立体的な涙腺組織をヒトiPS細胞から作製することが可能となり、重症ドライアイに対する根治的再生治療法の開発が可能となりました。



Research at Osaka University
ResOU

リソウ

http://osku.jp/NL87_HOTPR2

これまで困難と考えられていたiPS細胞を用いた涙腺の再生医療技術の確立は、社会に大きなインパクトを与えました。再生医療分野の更なる発展が期待されます。

報道メディア：NHK ほか 22件（ResOUページビュー数：1,301件）